

『創薬科学・医薬化学』章末問題解答 12章

1. 潰瘍の成因について記せ.

【解答】攻撃因子（胃酸，ペプシン，ピロリ菌，非ステロイド性抗炎症薬）と防御因子（粘膜血流，粘液）のバランスが崩れ，攻撃因子が優勢となった場合に潰瘍が生じる.

2. 胃酸分泌に関与する三つの受容体の名称を記せ.

【解答】アセチルコリン M_1 受容体（またはムスカリン M_1 受容体），ガストリン受容体，ヒスタミン H_2 受容体

3. 攻撃因子について2種類記せ.

【解答】胃酸，ペプシン，ピロリ菌，非ステロイド性抗炎症薬のうち二つ.

4. 攻撃因子抑制薬は作用機作から2種類に大別される. それぞれの名称を記せ.

【解答】ヒスタミン H_2 受容体拮抗薬，プロトンポンプ阻害剤

5. 現在，日本でプロトンポンプ阻害薬として承認されている薬剤の名称をすべて記せ.

【解答】オメプラゾール（オメプラール®），ランソプラゾール（タケプロン®），パントプラゾール（プロトニクス®），ラベプラゾール（パリエット®）

6. 胃粘膜で産生されるプロスタグランジンの名称ならびに作用を記せ.

【解答】プロスタグランジン E_1 ，プロスタグランジン E_2